



TITLE:

京都大学図書館機構における資料の保全と利用

AUTHOR(S):

富岡, 達治

CITATION:

富岡, 達治. 京都大学図書館機構における資料の保全と利用. 2017: 1-29

ISSUE DATE:

2017-01-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/250211>

RIGHT:

京都大学図書館機構における 資料の保全と利用

ミャンマー連邦共和国の文化遺産保護のための取組みと課題
平成29年1月25日



京都大学附属図書館 学術支援課
富岡 達治 (Tatsuji Tomioka)

目次

- 京都大学の図書館とは？
- 京都大学の貴重資料
- 修復事業
- 電子化事業
- 日常業務における保全と利用



京都大学の図書館とは？

京都大学の図書館とは？

- 50の図書館/室

- 附属図書館 & 部局毎の図書館/室
- 「京都大学図書館機構」を構成

- 蔵書数：690万冊

- 所蔵雑誌：12万タイトル
- 電子ジャーナル：3万6千タイトル

大学図書館のトレンド - その1

- ラーニング・コモンズ
 - アクティブ・ラーニングの実践
 - グループワークなど「話せる場」を提供



大学図書館のトレンド – その2

■オープンアクセス

- 機関リポジトリを活用した研究成果公開
- 京都大学オープンアクセス方針
(2015年4月28日採択)
- **KURENAI** : 145,000件の収録
(世界第41位、アジア第1位)



貴重資料

— 図書館における文化財 —

貴重資料 = 紙資料中心

- 国宝

- 今昔物語集（鈴鹿本）

- 重要文化財

- 萬葉集（尼崎本）
 - 古今集注
 - ジョサイア・コンドル建築図面
（建築系図書室所蔵）

：



貴重資料 = 紙資料中心

天正遣欧使節肖像画



國女歌舞妓繪詞

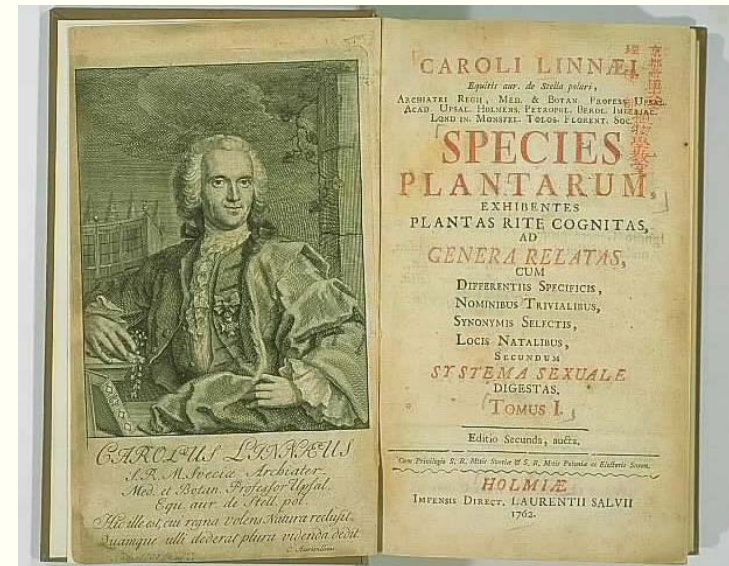


貴重資料 = 紙資料中心

付喪神絵巻



『植物の種』 (リンネ)





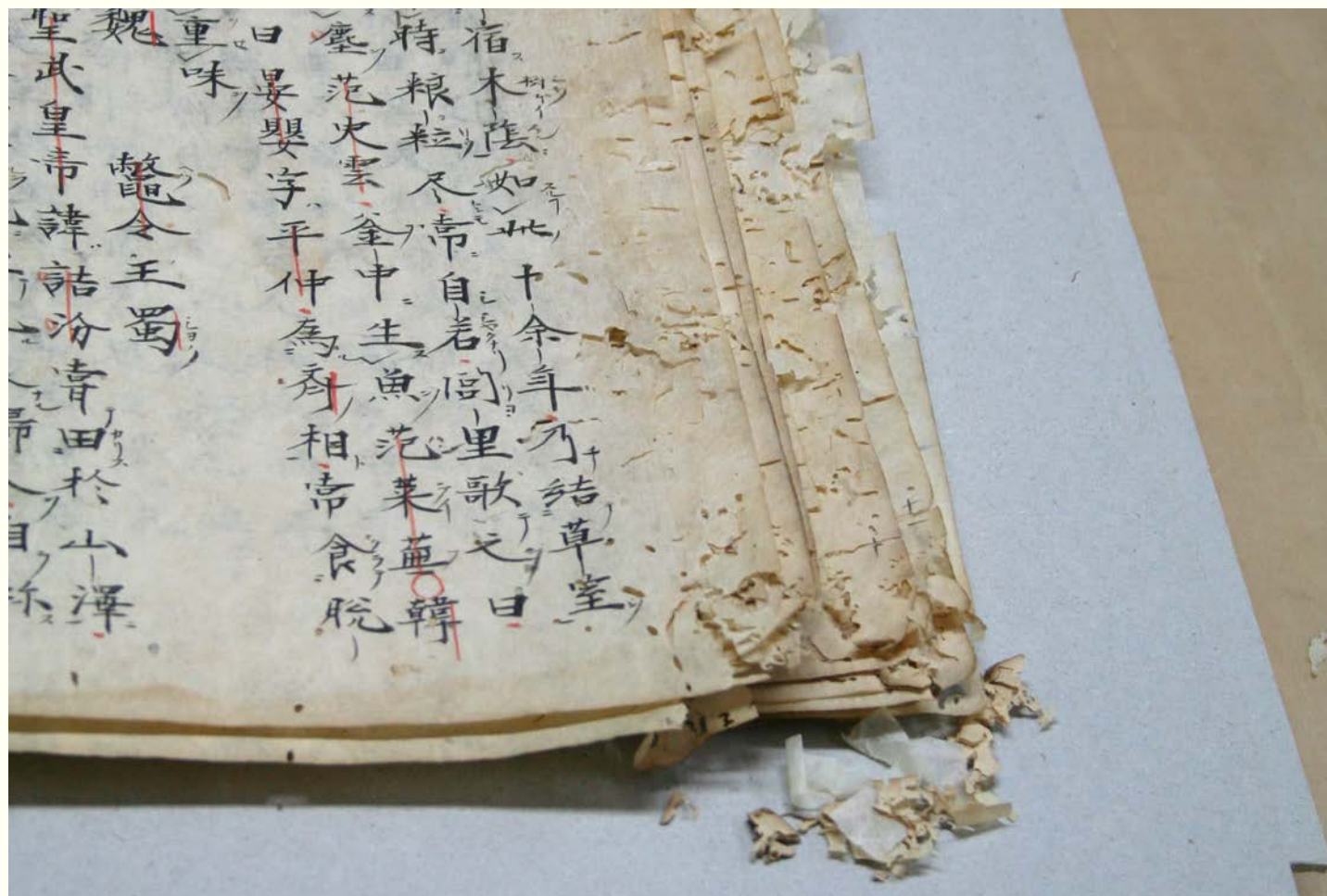
貴重資料

—図書館における修復事業—

修復事業

- 修復貴重資料選定のための指針
 - 第二特別委員会(図書館サービス)作成
(平成22年度 図書館協議会 承認)
 - 全学的な修復計画を作成し、予算要求
- 修復事業
 - 平成23年度～
 - 毎年500万円程度を獲得し、修復実施

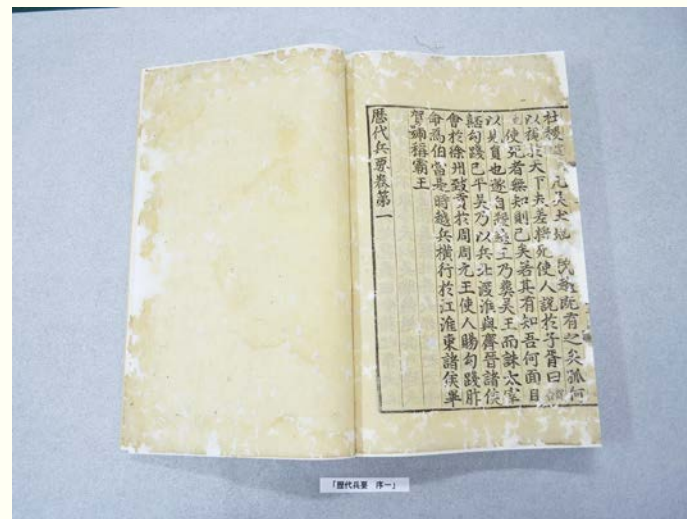
修復事業



修復事業



修復事業





貴重資料

—図書館における電子化事業—

電子化事業 – 利用のために

- 利用のための手段
 - 原本の代替（マイクロ化→電子化）
 - インターネットによる公開
- 京都大学での取り組み
 - 1996年～
 - 2016年度末：約90万コマ

電子化事業 – 現在の位置づけ

- 京都大学重点戦略アクションプラン「オープンアクセス推進事業」
 - 学術論文等の研究成果公開の推進と世界的展開
 - 貴重資料等の一次資料の電子化と公開
 - 研究情報の適切な管理とアクセスのための基盤整備
 - 研究支援職員の組織的育成

電子化事業 - 連携と経費獲得

- オープンアクセス推進事業（京都大学重点戦略アクションプラン）
- 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画（国文学研究資料館）
- 「富士川文庫」保存・公開のための修復・電子化事業（概算要求）
- 韓国高麗大学校との朝鮮古文献資料のデジタル化公開に関する協定
- Linked Open Dataのためのプロトタイプシステム構築（学知創生ユニット）
- 世界トップ大学に伍する戦略的アプローチ～国際プレゼンス、レピュテーション向上による大学経営体制の強化（自立促進）～（国立大学改革強化推進補助金）

電子化資料の公開

**Kyoto University
Digital Library
Rare Materials Exhibition**
京都大学電子図書館 貴重資料画像

貴重資料をさがす
Search Rare Materials

文学史年表
Timeline of Japanese Literature

附属図書館公開企画展展示会図録
Library Exhibition Catalogs

旧サイト Previous Website [みる Browse](#) | [さがす Search](#)

MOST POPULAR MATERIALS



国宝、重要文化財
今昔物語集 【国宝】
Konjaku Monogatari-Shu



時代の記録
天正遣欧使節肖像画
Neue Zeitung aus der Insel Japonien



物語や謡曲
国女歌舞妓繪詞
Kunijo Kabuki Ekotoba



時代の記録
維新資料画像データベース ...
Meiji Restoration Images

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/exhibit/>

課題 - 見せ方と利用の促進

- 「今風」の見せ方とは?
 - 現状（レガシー）
 - コレクション毎のHTML、Flash
 - 環境の変化
 - ハードウェア：高速化、高解像度化
 - ネットワーク：高速化
 - ソフトウェア：多機能化（HTML5）

「今風」ではない見せ方

京都大学附属図書館所蔵 古典籍『長崎遊観図絵：長崎雑覧』 [004/105]



162,619 bytes of JPEG FILE

[\[Previous Page\]](#) [\[Next Page\]](#)

コレクション毎のページデザイン



課題 - 見せ方と利用の促進

■ IIIF



(International Image Interoperability Framework)

- デジタル画像相互運用のための国際規格

→ <http://iiif.io/>

- Webの標準技術を用いたAPI

→ 対応ソフトウェアは、オープンソース

- IIIF Consortium (運営組織)

→ 京都大学図書館機構も加盟 (2016年12月6日)



日常業務での保全と利用

図書館業務改善推進会議

- 図書館業務の合理化、効率化のための職員組織
- 6つの作業部会
 - 総括部会
 - 情報資源管理部会
 - 図書館サービス部会 → 「資料保存環境の整備」を含む
 - リテラシー・レファレンス部会
 - 情報処理部会
 - 人材育成部会

職員間の情報共有（一部学外公開あり）

京都大学図書館機構 図書館員のための閲覧環境・資料保存環境

ホーム | このサイトについて | 部会について

▼ 一般公開情報

- ▶ 製作物
- ▶ 参考資料

▼ 学内向き情報

- ▶ 資料の水損や災害に備えて準備しておくこと
- ▶ 学内研修・講演会
- ▶ 書庫環境調査・集計報告
- ▶ 保存対策FAQ
- ▶ 資料情報
- ▶ 学内事例
- ▶ 議事録
- ▶ 部会限定ページ
- ▶ 京都大学防災・危機管理関連資料リンク集

▼ サイト内を検索

Search

おすすめのコンテンツ



製作物
動画、マニュアル、ポスターなどを一般公開しています。



学内研修・講演会
実務研修などの資料を掲載しています。



資料の水損や災害に備えて準備しておくこと
災害に対処する際の情報や連絡先です。



京都大学防災・危機管理関連資料リンク集
学内の危機管理マニュアルや参考事例です。

▼ おすすめのQ&A 【リンク先は学内限定】

- ▶ Q.2012-10:書庫の特定の部分のみ具棚に湿度が高く、カビが生えやすい環境になっています。集密書架のため空気の流れも十分にできません。どうしたらよいでしょうか。
- ▶ Q.2012-08:研修(平成24年度「継ぎ直して(保存)」の実習前半の省略されていた「ばらす」ところを解説してください。
- ▶ Q.2013-23:消毒用アルコールは一般的な紙の本の他、羊皮紙、マイクロフィッシュ、CD及びDVDケースなどにも使ってよいですか？
- ▶ Q.2013-19:江戸時代の和書(約600部)について曝書をしたいのですが、その具体的な方法について知りたいと思います。
- ▶ Q.2009-03:劣化した羊皮紙にセロテープが貼ってある場合の対処法が知りたいです。

京都大学図書系連絡ページ【学内限定】 | 京都大学図書館機構 | 京都大学
京都大学図書館機構図書業務改善推進会議 図書館サービス部会 問合せ先: service66@kulib[at]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp(【at】を@に置き換えてください)
© 2012- Section on Service, Committee on Reform of Library Management and Services, The Kyoto University Library Network

<https://www2.kulib.kyoto-u.ac.jp/preservation/>

成果公開例（KURENAIで公開）

■図書館資料保存環境整備マニュアル

（京都大学図書館業務改善推進会議 図書館サービス部会）

<http://hdl.handle.net/2433/216100>

1. 建物について
2. 防災について
3. 書庫環境について

付録：書庫環境チェックリスト

まとめ

- 貴重資料の電子化・公開は
新たな研究のタネ
- 資料を次の世代へ「つなぐ」ことが
図書館の使命